

事業計画書等参考書式

	(ページ)
事業計画書 (共通)	①・②
事業計画書 (一般)	③・④
事業計画書 (個人住宅)	⑤
事業計画書 (資材置場)	⑥
事業計画書 (砂利等採取)	⑦
事業計画書 (建売分譲、宅地分譲)	⑧・⑨
事業計画書 (植林)	⑩
被害防除計画書	⑪
農地復元計画書	⑫
融資証明書	⑬

事業計画書等の使い方

一般(下記以外)の場合	①・②・③・⑪	+必要に応じて④・⑫・⑬
個人住宅の場合	①・②・⑪	+必要に応じて⑤・⑬
資材置場の場合	①・②・⑥・⑪	+必要に応じて⑫・⑬
砂利等採取の場合	①・⑦・⑫	+必要に応じて⑬
建売分譲の場合	①・②・⑧・⑨・⑪	+必要に応じて⑬
宅地分譲の場合	①・②・⑧・⑪	+必要に応じて⑬
植林の場合	①・②・⑩	+必要に応じて⑬

①

事業計画書(共通)

1 農地転用を必要とする事業を行う理由

2 農地を適地として選定した理由

3 転用事業費内訳

用地取得・借上経費	円
造成・整地経費	円
施設・建物建設経費	円
設計費	円
測量・登記経費	円
搬入費等諸経費	円
合計	円

4 資金計画

自己資金	円
借入資金	円(金融機関名)
補助金	円(補助事業名)
合計	円

5 過去の転用事業の(有・無)

(有る場合)

転用事業(完了・未完了) 未完了の場合はその理由と今後の計画

6 転用事業の妨げとなる権利者の(有・無)

(有る場合)

権利者名	権利内容	同意状況
------	------	------

7 転用事業に関連する他法令の(有・無)

(有る場合)

該当法令名	手続状況・予定	進行見込み
-------	---------	-------

②

8 一体として利用する農地以外の土地の（有・無） ※道水路を含む。

（有る場合）

土地の所在	地番	現況地目	面積	所有者	同意・調整状況
			m ²		

9 造成・盛土の（有・無）

（有る場合）

盛土高	m	土量	m ³
別様式「被害防除計画書」添付			

10 河川等からの取水の（有・無）

（有る場合）

必要性	
取水方法	
取水量	m ³

11 上水管引き込みの（有・無）

（有る場合）

本管等の位置と引き込み方法

12 排水の（有・無）

（有る場合）

別様式「被害防除計画書」添付

【許可後1年以内に完了できない場合】

工程（暦に対応したものでなく許可日から起算したものでよい。）

【一時転用の場合】

別様式「農地復元計画書」添付

工程（着工から農地復元まで。暦に対応したものでなく許可日から起算したものでよい。）

【転用後に施設を貸付する場合】

貸し付け施設名	借り受け者名	契約予定内容（金額、期間等）
---------	--------	----------------

④

【農用地区域内にある農地の場合】

市町村との協議状況（市町村長の同意書があるときは記入不要。）

【第1種、甲種、第2種農地の場合】

1 農地の中で他に適地（代替性）がないとき

場所選定経過

2 既存施設の拡張であるとき

既存施設の敷地面積 m²

既存施設の業務内容

既存施設と転用事業との関連性

3 農業従事者の就労機会の増大に寄与する施設であるとき

雇用計画（市町村等との雇用協定書があるときは記入不要。）

4 公共性が高い事業であるとき

その事業名

事業概要

⑤

事業計画書（自己用個人住宅）

※他に事業計画書（共通）を添付する。

【転用面積が所定面積（500㎡）を超える場合】

理由

【第1種、甲種、第2種農地の場合】

場所選定経過

⑦

事業計画書（砂利等採取）

※他に事業計画書（共通）の1～7を添付する。

1 事業者の説明（現在の事業内容、事業暦概要）

2 具体的な採取計画

（採取・採石に係る他法令の申請書の写しを添付するか、砂利採取計画認可申請諸様式等を参考にしながら作成し添付する。）

3 仮設道路を付設する場合はその概要と面積

【農用地区域内にある農地の場合】

市町村との協議状況（市町村長の同意書があるときは記入不要。）

⑨

【建売分譲の場合】

1 各区画毎の具体的な建物建築計画

(「時期」は、暦に対応したものでなく許可日から起算したのもでもよい。)

区画番号	建物面積	建築費用	建築確認時期	建物完成時期	登記時期
------	------	------	--------	--------	------

2 工程 (用地取得、造成、建築確認、建物建築、登記、分譲開始)

(別表にするときはこの項目を入れる。暦に対応したものでなく許可日から起算したのもでもよい。)

被害防除計画書

1 用地造成に伴う被害防除措置

- ・ 土留め工事をする
- ・ 擁壁を設ける
- ・ 法面保護をする
- ・ 緩衝地を設ける
- ・ その他

※ 周囲の農地、人家、道水路等への土砂の流出、堆積等を生じさせないための対策について、該当するところに○を付け、括弧内にその具体的内容を記入すること。
被害防除計画図等においてその位置を示すこと。

2 排水計画

(1) 汚水（尿尿、工場排水等）

- ・ 合併浄化槽
 - ・ 浄化槽
 - ・ 公共下水道
 - ・ 汲み取り
 - ・ その他
-

(2) 生活雑排水

- ・ 合併浄化槽
 - ・ 溜枳
 - ・ 公共下水道
 - ・ その他
-

(3) 雨水排水

- ・ 溜枳
 - ・ 貯水池
 - ・ 水路放流
 - ・ 自然流下
 - ・ その他
-

※ 該当するところに○を付け、括弧内にその具体的内容を記入すること。
被害防除計画図等においてその位置・経路を示すこと。

3 隣接地への資材崩れ、近隣農地の日照・通風・通作及びその他の支障を与えないための被害防除措置

- ・ 防護柵を設ける
- ・ 緩衝地、緑地を設ける
- ・ 施設・建物の高さを加減する
- ・ その他

※ 該当するところに○を付け、括弧内にその具体的内容を記入すること。
被害防除計画図等においてその位置を示すこと。

農地復元計画書

1 復元責任者

住所
氏名
電話番号

2 具体的な復元工事・作業方法

3 復元工事・作業実施期間

実施期間	年	月	日から	年	月	日まで
耕作者等の現地確認予定	年	月	日			

4 復元費用

(1) 費用負担者

(2) 復元費用

ア	資材・仮設工作物・残土等搬出費	円
イ	耕土購入・搬入費	円
ウ	整地費	円
エ	その他諸経費	円
	合計	円

融 資 証 明 書

年 月 日

(借入申込者)

住所

氏名 様

(証明者)

住所

氏名 印

弊社は、貴方から土地購入及び施設建設資金として（借入申込を受けており・借入申込があれば）、農地転用について秋田県知事の許可があり次第、次のとおり貸付する用意があることを証明します。

1 貸付予定金額

2 貸付対象事業

※ 証明者に独自の様式がある場合は、その様式で差し支えないものとします。